

ごあいさつ



岩手芸術祭実行委員会
会長 柴田 和子

芸術の秋を彩る岩手芸術祭がいよいよ開幕いたします。
県内最大の総合芸術祭である「岩手芸術祭」は、県民の文化芸術活動の成果を発表する場として、また、芸術を身近に鑑賞できる場として回を重ね、今年で第77回目を迎えることになりました。

これまでの県民の皆様のご理解とご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

今年度の芸術祭は、総合テーマ「躍動 感動 芸術の花 いわたの大地に咲き誇れ」のもと、美術展、舞台公演、文芸祭などを県内各地で開催してまいります。

是非、この機会に、多くの方々に岩手の文化芸術に触れていただきますようお願いいたします。

今年度の岩手県主催の岩手芸術祭総合フェスティバルは、岩手芸術祭の歴史とともに歩んできた岩手県芸術文化協会が、令和7年に創立50周年を迎えることから、岩手県芸術文化協会プレ創立50周年記念舞台公演として、「継承・創造・平和一祝って、いわて」〈～もう一度観たい あの舞台～〉をテーマに、過去の舞台公演で好評であった演目の再演など、幅広いジャンルの県内の優れた文化芸術団体、出演者のご出演をいただき、県内最大の文化芸術の祭典に相応しい、多種多様なステージが繰り広げられます。

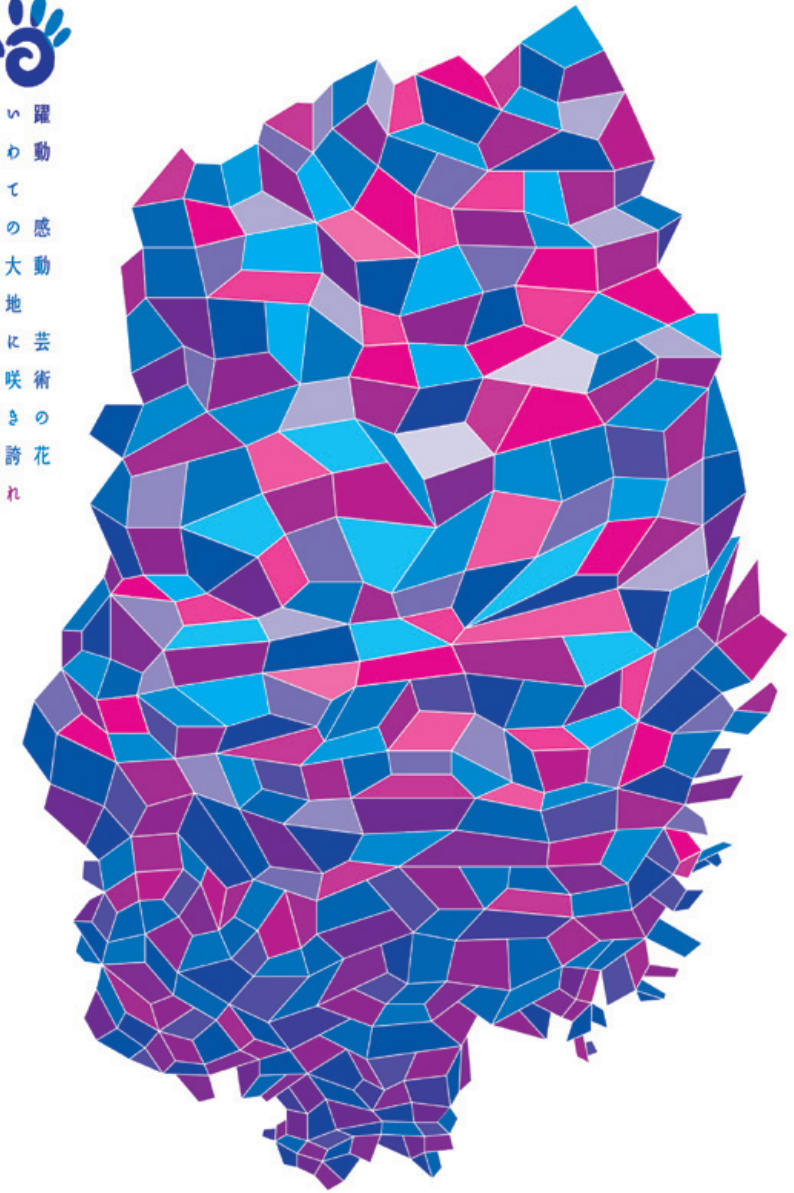
どうか最後までごゆっくりご鑑賞をいただき、温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催にあたり、ご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

2024第77回



躍動 感動 芸術の花
いわての大地に咲き誇れ



岩手県芸術文化協会プレ創立50周年記念舞台公演

岩手芸術祭 総合フェスティバル

2024 10月5日(土) 開場▶12:35 開演▶13:00
トーサイクラシックホール岩手 大ホール
(岩手県民会館)

岩手県民の歌(昭和39年制定)

作詞: 由原 耕一
補作詞: 岩手県民の歌審査委員会
作編曲: 中田 喜直

しらくもの うかぶ はてまで
はろばろと 蒼(あお)き 国原(くにばら)
かざりなき 未来を こめて
岩手 岩手 ふるさと 岩手
とこしえに 若き 大地よ
みらのくの 文化 かぐわし
金色(こんじき)に 咲ける この国
誇らかに いまに 伝えて
岩手 岩手 ふるさと 岩手
胸ふかく 想う その名よ
山なみの さわも さやかに
染めなせる あかねの 光
かがやける 明日を 徴(しる)して
岩手 岩手 ふるさと 岩手
大空に 描く 望みよ

後援

盛岡市 NHK盛岡放送局

協力

記録撮影 岩手県写真連盟

企画

岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会

企画演出プロデューサー……柴田 和子(岩手県芸術文化協会 会長)

構成・演出……大沼 まゆみ(岩手県洋舞協会)

構成・演出アドバイザー……倉持 裕幸(岩手県演劇協会)

民俗芸能コーディネーター……藤沢 清美(岩手県民謡協会)

音楽コーディネーター……村松 玲子(岩手県合唱連盟)

舞台美術コーディネーター……小笠原 卓雄(岩手芸術祭美術展現代美術部門)

舞台監督……近藤 英一

照明コーディネーター……佐藤 勝己(Kパフォーマンスアート)

主催

岩手県 岩手県芸術文化協会 岩手県文化振興事業団

岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ

岩手朝日テレビ エフエム岩手

問い合わせ先

一般社団法人岩手県芸術文化協会 TEL▶019-626-1202

二次元コードからアクセスすると、

公演のライブ配信をスマートフォン等でご覧いただけます。



- 携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えください。
- 主催者の許可のない撮影・録音は禁止させて頂いております。
- 大ホール客席での飲食は禁止となります。



岩手県政
150周年
記念事業

デザイン/佐々木海太郎

プログラム

司会：甲斐谷 望（IBC岩手放送アナウンサー）

テーマ：継承・創造・平和 ー祝って、いわてー ~もう一度観たい あの舞台~

ー 第 1 部 ー

▼ 「合唱」 ICAスペシャルメールクワイア2024／岩手県合唱連盟

- (1) 曲 目／「岩手県民の歌」（昭和39年制定）
作詞：田原 耕二 補作詞：岩手県民の歌審査委員会 作編曲：中田 喜直
- (2) 出演者／ICAスペシャルメールクワイア2024
ICA（Iwate Choral Assosiation 岩手県合唱連盟）に加盟する合唱団から、合唱を愛する男たちが集い、岩手芸術祭総合フェスティバルのために男声合唱団を結成しました。男声ならではの力強い歌声で「岩手県民の歌」を合唱いたします。
◆指揮／山田 靖了 ◆ピアノ／三上 華子

▼ 「大太鼓とモダンダンスのコラボレーション」 (平成29年 第70回岩手芸術祭フェスティバル公演) 佐比内金山太鼓保存会・金田尚子舞踊研究所／岩手県洋舞協会

- (1) 演 目／「魂極る風に」
- (2) 出演者／佐比内金山太鼓保存会 高橋 環 佐々木 勉
毎年8月に開催される金山祭りでは子供からシルバーまで年代毎の太鼓公演が行われます。地域に根ざした伝承活動に取り組んでいます。
金田尚子舞踊研究所（岩手県洋舞協会）
花坂 茉椰 関根 和子 一條 友希 長澤 ほのか
関根 佳子（国際基督大学1年） 大久保 永遠（盛岡第二高校3年）
月折 胡袖（盛岡白百合学園高校3年） 佐藤 立恩（盛岡中央高校2年）
関根 亜子（盛岡白百合学園高校1年） 藤堂 ひかる（盛岡第一高校1年）
モダンダンス、クラシックバレエなど多岐にわたって指導。
全国舞踊コンクール上位入賞を果たす門下生を数多く輩出。
11月4日（盛岡市民文化ホール大ホール）で発表会を開催予定。

▼ 津軽三味線「独奏」「オリジナル曲合奏」 二代目井上成美（黒澤博幸）・津軽三味線黒澤会

- (1) 演目1／「津軽三味線 独奏」
津軽三味線全国大会三連覇仁太坊賞受賞の黒澤博幸の津軽三味線独奏。
演目2／合奏曲「今昔」
津軽三味線発祥の地である青森県北津軽郡（現五所川原市）金木町に生まれた津軽三味線の始祖「仁太坊」こと秋元仁太郎が初めて演奏楽器として作曲した曲をアレンジして「今昔」と称したオリジナル合奏曲。
- (2) 出演者／二代目井上成美（黒澤博幸） 津軽三味線黒澤会
2017・2019津軽三味線全日本金木大会団体Aグループ優勝。2024津軽三味線日本一決定戦合奏ねぶたの部準優勝。

▼ 創作詩・弦楽カルテット・ダンス・現代美術のコラボレーション (平成18年 第59回岩手芸術祭フェスティバル公演) 岩手県詩人クラブ 岩手県弦楽研究会 石田智哉（新☆男塾） 岩手芸術祭美術展現代美術部門

- (1) 創作詩：「50周年を祝う使者」照井 良平（岩手県詩人クラブ会長）作
朗 読：朗読者／大矢 知田（岩手県立盛岡第一高等学校2年／第24回東北高等学校アナウンス朗読コンテストアナウンス部門優秀賞受賞）
- (2) 弦楽カルテット：曲 目／「カノン」 作曲：パッヘルベル
出演者／菊池 昭子 渡辺 めぐみ 大森 響生
三浦 明子
- (3) ダンス：出演者／ダンスパフォーマー 石田 智哉
(スタジオDANCE ONE所属 新☆男塾)
- (4) 現代美術作品：小笠原 卓雄（岩手芸術祭美術展現代美術部門会長）作
この作品は、平成18年に開催の第59回岩手芸術祭のフェスティバルで公演の演目をもとに、今回は、令和7年に創立50周年を迎える岩手県芸術文化協会の創立50周年を祝う創作詩を4つのジャンルの演目で紡いだコラボレーション作品です。

▼ 日本舞踊「岩手風物詩」 (令和3年 第74回岩手芸術祭フェスティバル公演) 岩手県邦舞協会

- (1) 演 目／「岩手風物詩」
- (2) 出演者／若柳 ゆり恵 水木 愛歌 藤間 亜祁之 若柳 瑞恵
水木 歌梗 水木 優希 水木 雀優 水木 春翠
若柳 華裕 若柳 優 若柳 聖鈴 若柳 若純
岩手山の裾野に春を待ちわび、次々と咲く花々、やがてチャグチャグ馬っ子が鈴を鳴らして通る様子、そして掛声と共に競い合うわんこそば…岩手の風物を情緒豊かに舞踊化したものです。

ー 第 2 部 ー

▼ 式典「感謝のセレモニー」

長年、芸術文化の発展に尽力されてきた方々への感謝など。

- (1) 受賞者の紹介と感謝状贈呈
- (2) 「芸術祭テーマ」優秀賞表彰
- (3) 主催者挨拶 岩手芸術祭実行委員会 会長 柴田 和子
- (4) 挨拶 岩手県知事 達増 拓也

感謝状受賞のみなさん

<美術部門>
■日本画部門／福士 るみ子さん ■洋画部門／阿部 優さん

<舞台等部门>
■邦楽部門／福士 幸雄さん ■合唱部門／佐藤 文子さん
■弦楽部門／菊池 昭子さん ■三曲部門／金野 海山さん
■日舞部門／水木 楓さん ■民謡部門／七戸 実乗さん
■新舞踊部門／嵯峨 勘紫翁さん

<文芸部門>
■俳句部門／山火 律子さん

芸術祭テーマ優秀作品

「躍動 感動 芸術の花 いわての大地に咲き誇れ」

作者 熊谷 幸平さん（一関市）

伴 奏／盛岡市民マンドリンクラブ
出演者／榎 晴香 立花 亜友 菊地 乃愛 佐々木 萌 半澤 綾

ー 第 3 部 ー

▼ 書道パフォーマンス&ジャズピアノ (平成30年 第71回岩手芸術祭フェスティバル公演) 岩手県立盛岡商業高等学校書道部・鈴木 牧子（岩手県ピアノ音楽協会）

- (1) 演 目／書道パフォーマンス&ジャズピアノ
岩手県立盛岡商業高等学校書道部による書道パフォーマンスとジャズピアニスト鈴木牧子のジャズピアノの共演。
- (2) 出演者／岩手県立盛岡商業高等学校書道部
岩手県立盛岡商業高等学校書道部は県内外の書道展で優秀な成績を挙げております。また、書道パフォーマンスにも取り組んでおり、地域の活動を通じて、書の楽しさを伝えられるよう日々励んでいます。
鈴木 牧子（岩手県ピアノ音楽協会）
盛岡市在住。1996～98年、自身が率いるカルテットで横浜ジャズブロムナードその他のコンテストで優秀賞3度受賞。2016～2023年には三枚のアルバム発表。新宿ビットインなどでリリースツアーを行うなど、県内外で活躍のピアニスト。

▼ サクソフーン演奏 大村 光介

- (1) 曲 目／「Prelude, cadence et finale (A.Desenclos)」
- (2) 出演者／大村 光介
岩手県立宮古高等学校1年生。2023年第24回大阪国際音楽コンクール管楽器部門Age-J入選。2024年1月第26回Jr.サクソフーンコンクール中学生部門で金賞グランプリを受賞。この夏は浜松国際管楽器アカデミーを受講するなど研鑽を積んでいます。
◆ピアノ伴奏／渡邊 真司

▼ ユネスコ無形文化遺産登録「岩崎鬼剣舞」 岩崎鬼剣舞保存会

- (1) 演 目／「刀剣舞」
太刀を抜いて引き念仏、掃き念仏を行い扇に替えて早や念仏、センヤ念仏、そして二踊りに入るやもや太刀を抜いて踊ります。どっしりとした落ち着いたの中に、厳しくも風格のある舞です。
- (2) 出演者／岩崎鬼剣舞保存会
ユネスコ無形文化遺産登録。北上和賀地方に伝わる鬼剣舞の源流。演目は「一番庭」「一番庭の狂い」「刀剣舞」「八人加護」など。今回の演目は「刀剣舞」です。鬼剣舞の源流の奥深い妙技を披露します。

▼ 郷土芸能「虎舞」 陸中弁天虎舞

- (1) 演 目／「虎舞」「遊び虎」「跳ね虎」「笹ばみ」
- (2) 出演者／陸中弁天虎舞
「赤浜虎舞」が前身。その後、大槌湾の蓬莱島（ひよっこりひょうたんじま）に祭られる弁天神社に、吉里吉里善兵衛ゆかりの品が納められたことを契機に「陸中弁天虎舞」と改称。東日本大震災で仲間が犠牲になり道具も流出しましたが、支援を受けて活動を継続し、今年創立50周年の節目を迎えました。

▼ バトントワリング (平成28年 第69回岩手芸術祭フェスティバル公演) Zealバトントワラーズ

- (1) 演目1／「SAMBA」 演目2／「WARRIORS」
- (2) 出演者／Zealバトントワラーズ
幼児から高校生まで約60名で活動しています。2023年8月の世界大会にて銅メダルを獲得、2024年3月の全国大会で小学生が東北初の個人6位入賞。様々なイベントに出演し、地域の皆様に私たちの演技を見ていただきバトントワリングの魅力と楽しさを伝えて元気になってもらえたらと思いい日々活動しています。
小野寺 俐和（盛岡中央高校2年） 中村 花（盛岡誠桜高校2年） 肥田 暖乃（盛岡中央高校1年）
入江 結愛（矢巾北中学校2年） 眞下 ひかり（矢巾北中学校2年）
前川 奈々伽（紫波第一中学校2年） 中川 愛望（矢巾中学校1年） 伊藤 沙笑（仙北中学校1年）
佐藤 千恵（下小路中学校1年） 佐藤 妃茉莉（黒石野中学校1年） 内田 結葵（仙北中学校1年）
藤原 ひまり（本宮小学校6年） 村上 嘉笑良（煙山小学校6年） 入江 蓮斗（煙山小学校6年）
寺長根 詩乃（都南東小学校6年） 関川 結月（煙山小学校6年） 猪瀬 琳香（鶴飼小学校6年）
中村 寿莉（本宮小学校6年） 藤沼 俐里（岩手大学教育学部附属小学校5年）
中村 心優（煙山小学校5年） 成田 縁（矢巾東小学校5年） 昆 佑真（太田東小学校5年）
渡辺 華帆（上田小学校5年） 堀合 心音（向中野小学校5年） 齊藤 麗乃（向中野小学校4年）
阿部 瑠彩（宮野目小学校4年）

▼ バレエとビデオメッセージ（映像出演） (令和3年 第74回岩手芸術祭フェスティバル映像出演) 太田 倫功

宮古市出身のバレエダンサー。今夏のパリオリンピック開会式に出演。現在、フランス国立ボルドーオペラ座バレエ団の最高位エトワールとして活躍中。過去のダンス映像とともに、パリオリンピック開会式出演の感想などフランスからのメッセージをお届けします。

▼ 「合唱」 ICAスペシャルメールクワイア2024／岩手県合唱連盟・出演者

- (1) 曲 目1／「斎太郎節」宮城県民謡 編曲：竹花 秀昭
曲 目2／「岩手県民の歌」（昭和39年制定）
- (2) 出演者／ICAスペシャルメールクワイア2024
男声合唱の定番「斎太郎節」そして「岩手県民の歌」を合唱します。岩手県民の歌は、出演者、会場の皆さんと一緒に合唱します。
◆指揮／山田 靖了 ◆ピアノ／鈴木 牧子